

福住地区 土砂堆積



町土壌汚染防止条例違反にて告発も検討

7月3日、静岡県熱海市で土石流による災害が発生した。

本町では土石流の発生する心配は無いのか。

西尾知多線のミニストップ付近の住民から土砂を片付けてほしいと言う要望が寄せられている。

行政の責任として、大雨による土石流災害の発生のおそれがあるにもかかわらず、現状のまま長く放置されていることは大変問題である。

問 熱海と同じ様な災害が発生する前に土砂を整理すべきであると、近隣住民が心配している。解決策と住民への説明。

答 建 本町は事業者等に何度も指導している。

事業者等は、是正のため福住地区の管理する池の埋立てを地区に提案し、町から許可を受け実施したが、搬出できなかった土砂が現在も堆積しているため、町より崩落対策を講じるよう指導している。さらに本町としては、事業者に対し町土壌汚染防止条例違反による告発も検討している。

住民への説明は事業者等が同条例に基づき行っているほか、地区が回覧により埋立て等の案内を行っている。



澤田 道孝 議員
(佐和の会)

問 8月20日、中日新聞によると国は盛り土撤去費用を自治体に支援するとの記事がある。本町はこの自治体支援を受ける気があるか。

答 建 「盛り土の撤去費用に関する国の自治体支援について、関係省庁が新年度予算の概算要求に関連経費を求める。」と報道されており、どのような盛り土を支援の対象とするのか、国の動向を見ながら、情報収集に努める。



民家にせまる盛り土



高さ7m程に積み上げられた土砂